

	意見・提言・感想等	回 答
1	□本議会報告会 令和 6 年 9 月で開催され本会議のモニター報告をいたします。 9 月 18 日、本会議(傍聴) 議員の方々が桐生の産品（ネクタイ、チーフなど）を見えるところに付けて参加されていると桐生を大事にして取り組んでいるというメッセージが発信されていいと感じました。 マスクを着用して報告されている方がいます。声がこもって聞き取り難いのです。マスク着用は個人の判断とされていますが、シールドを設けるなどして発言の時だけでもマスクを外し明確に言葉が伝わるように配慮をお願いします。 また、会議中に報告される議員の原稿を隠し、焦っている議員をみて笑っている方がいました。真剣さに欠ける態度と思いました。 議案第 69 号、諮問 4 号 5 号 任命と諮問 教育委員会、人権擁護各委員の任命と推薦 再任は任期中での実績を明確にしてほしいと思います。また、ほとんどの委員選任の理由は、過去に教職を経験し校長などを歴任されたとのことですが、それで良いか疑問に思います。最近、教育関係者の不祥事が多発しており、この選任基準では不安です。学校関係以外からの選出も必要と思います。選任の課程を“見える化”することも必要です。 議案第 57 号 本庁舎建設工事契約の変更 工事の内容変更と建設契約に基づくインフレスライド条項の適用を理由に 4 億 7 千万増が提起されました。新庁舎建設を計画し検討された時とは、市民感情を含めた状況が大きく変わっています。増額せずに仕様見直し、工事請負者との再交渉による費用抑制を強く望みます。	議員それぞれが桐生市産品に愛情をもち利用させていただいています。ご指摘の内容につきましては、全議員に共有し、改善いたします。 マスクの着用につきましては個人の判断となりますので、発言の際はマイクを意識して発言するよう、全議員に促します。 貴重なご意見をいただきありがとうございます。全議員に共有し、参考にさせていただきます。 おっしゃることはごもっともと理解しております。本庁舎建設工事契約については、議会でも特に重要と議論を重ねてまいりましたが、物価高騰・人材不足など現状からの費用抑制は難しいものと考えます。

議案 64 号 歳入歳出決算の認定

殆どの科目で前年より改善の方向にあったことが判ります。しかし、同規模の他の市ではどうなっているのでしょうか？比較により気付き、改善の真似をする姿勢が必要と思います。現状を肯定し殻に籠っている感じがします。

また、各会派？からの意見が述べられましたが、総花的で解り難いものでした。言いたいことを絞り、論旨を明確にして、市民目線で市民に解る発言をお願いします。

地方財政の充実・強化に関する意見書

地方財政が苦しいことは理解できますが、おおもとの日本の財政が危機状態にあります。国に泣き付く前に、桐生市として、市の自らの財政計画を良く見直すべきだと思います。

一般質問(9月18日19日インターネット)

生活保護業務不適切について

この件は、既に、司法、県、第三者委員会などで取り組まれていることですから、この会議で言っても進展は期待薄と思います。給付の仕方が上手くなかったことは確かであり、しつこく悪者探しをするように思えます。自説を力説しても個人の意見に止まります。市からの答弁にも居直りを感じました。

クビアカツヤカミキリについて

現状を確認することに大半が費やされていましたが肝心の対策検討に至っておりません。桐生市としてどう対応するのかを問うべきと思いました。

新庁舎完成後の樹木の取り扱い

なぜ今更このような質問が寄せられるのか疑問に思いました。企画当初は新庁舎の建物だけに関心があったのでしょうか。大切な樹木、記念物について検討がされていなかったとしたら手抜きだと思います。

貴重なご意見をいただきありがとうございます。全議員に共有し、参考にさせていただきます。

ご意見をいただきありがとうございます。桐生市の財政につきましては、議会からも自主財源の確保に努めることを主旨とした提言やそれぞれの立場から提案をおこなっております。今後とも努力して参りますのでご理解ください。

ご助言をいただきありがとうございます。各議員に共有し、議員活動の参考にさせていただきます。

一般家庭ごみ収集について

長々としたお話でした。論旨が整っておらず困りごとが不明確で、市からは対策案は何も示されませんでした。

日本脳炎ワクチン

確認質問に止まり、普及率に改善が必要なのか判然としませんでした。質問のまえに近隣市の状況などを確認し、課題を浮き上がらせる必要があります。詰めを欠く質問と思いました。

P F A S

質問内容と回答は、インターネットにあるようなレベルのものでした。一般質問は単に意味内容を問うのではなく桐生市にとって何が大切で、何に困っていて、その対応をどうしていくのか、将来の方向を問うものであって欲しい。今回程度の内容の確認なら議会ではなくご自身で調べたらいいと思います。

自治会組織

質問が分かり難く、回答も的を捉えていないように思いました。1から5までの質問に一貫性がなく散発的な内容です。質問者のこの問題に対しての意識の低さが露呈されているように思います。人口減、高齢化で自治会の存続が危ぶまれています。この観点での質問があって欲しかったと思います。自治会が存続できない状況になったらどうなるのか不安に思いました。

ナラ枯れ

状況の確認止まりでした。早く対策しないと大変なことになるという危機意識が質問者にも回答者にも希薄なものでした。

ため池

双方に待ちの姿勢が感じられました。不幸な事故が起こらないように、決壊・氾濫がないように保全をしっかりと行うことが必要です。私有のものであってもそういった危険が危惧されたら、できない理由を並べるのではなく、改善を進めるように市が積極的に関わるべきと思いました。個人の事情ではなく市民の安全第一観点でのアクションをお願いします。

水道事業

最近、国のあちこちで水道管の老朽化による破裂事故が多く報道されています。こうならないような現状調査と対策をお願いします。また、能登の地震では断水改善に時間がかかっています。水源からの距離が遠く、供給路が限られていたのが原因とされています。桐生は大丈夫でしょうか。水源からの供給路は複数確保され、断水が起きても長い時間を要せずに回復できるのでしょうか？

教育

不登校児童対策に必要なのは、その生徒の逃げ場をつくってあげることだと思います。

教師を増やすことが対策とありますが、異なった意見を持ちます。生徒が、窮屈を感じたり、いじめにあったら学校に行かなくても良いと思います。まず命を守る、次にその中で学びの場を整えることだと思います。そもそも学校に行けないのですからその中に居場所をつくることを対策とする質問者の発想が解りません。

以前入社してこない社員に訊いたのですが、駐車場までは来ていても会社にむかおうとすると具合が悪くなるのだそうです。会社ではないところで時間を潰していたそうです。居場所は、行きたくない学校の外に設け、そこでの充実を考えるべきです。

図書館の建設

何も進んでいないことが判りました。公約はしたものの図書館新設の必要性認識は低いものなのでしょう。利用者数も三千人に満たないのでしょうからそれもうなずけます。建物の老朽化が新設の理由ならば、建物に焦点を絞ってことに当たるべきと思います。その際、議員が指摘されていたように現在有休となっている建物、学校の統廃合によって有休となる建物を活用するような施策が必要だと思います。人口も税収も、そして利用者も減少する中で箱モノへの投資は控えるべきだと思います。

職員の働き方改善

“３０年後”を前提としての質問に失望しました。この前提はすべての問題、課題を先送りするということと同じだと思います。３０年を待たず年々市の人口減少は進んでいます。今の問題として市の機能見直しに取り組むべきです。当然、議員の定数の見直しも人口減少に先行して論じられるべきものだと思います。全体を見据えていない、中途半端な質問と思いました。

R高について

課外授業は、報告があったようなものだけでなく、桐生市史プロジェクトと連携し、風土、歴史、民俗などについて桐生学として系統立てて深く学べるようにしたいと思いました。質問者は桐生の価値を解っていないと感じました。

市道、建設改良費用

道路特定財源制度の復活というご意見でした。道路特定財源の使用趣旨自体本旨から外れているものですから、またそれを復活させることは資金が捻出できれば何でも良い的なものです。後戻りしているようにさえ感じました。そんなお金に頼らずに必要なものはしっかりと予算化して取り組むべきです。

放課後子供プラン

質問の意図が理解できません。

駐車場

この質問の必要性も理解できません。移動のための照明は必要なのでしょうが、ここで質すレベルのことではないと思います。八木節祭りでの駐車場については、不便不足を感じています。祭りから離れすぎていないところを市で駐車場を確保して、祭りの案内と共に周知してほしいと思います。

* この質問者は、絞り込みが不足し、自信がなく、頼りなくみえました。無理に質問に立たなくても良いようにさえ思えました以上、報告いたします。